

2024/3

富士産業株式会社

2023 年名古屋学芸大学健康・栄養研究所 研究は・実践報告書

1. 研究・実践の課題(テーマ) 災害時支援キッチンカーの衛生管理システムの構築

〔能登地震での対応から学ぶ〕

2024/1/1 に能登地震は起きた。

当社の受託先である病院、福祉施設でも、水光熱の遮断が一度に発生した。

特に断水は、復興の見通しが全くつかず長期化することが判明

弊社でも、すぐにキッチンカーを手配し、各受託先の対応に向けて準備を進めたが、災害の翌日からの活動は困難を極めた。

また、能登市からは一日も早い、避難されている一般の方への炊き出し要請が入っていた。

災害時支援として、衛生的に有効的にキッチンカーが稼働するための直面した問題点と課題、キッチンカーの役割、活用の利点、食品選びと活動準備をまとめた。

〔直面した問題点と課題〕

- 道路が寸断され、陥没、液化現象、土砂崩れの環境状態
- キッチンカーの重量(8トン車)が耐えうる道路かの確認ができない
- 災害〔土砂崩れ、陥没、家屋の倒壊、火災〕が発生している場所には、危険な為近づけない
- 炊出し活動は、数日後(2週間以上後)の避難所前の提供しかできなかった
- 断水であるため、飲み水が最優先であり、手の衛生はウェットティッシュ、ウェットタオルで対応せざるを得ない。
- 断水であるため、食事の提供も、沸かす、温める、洗う作業は困難を極める
- 哺乳瓶、調理器具の消毒は不可
- 特殊な加工(アレルギー・コンタミ防止・細カット・ミキサー)は不可
- 復興まで長期にわたる場合、持病のある方、体調不良、低栄養、フレイル予防の食事も必要
- 外部からのほこり、害虫の侵入、コンタミの可能性が大

〔キッチンカーの役割〕

- 早急に支給された、ペットボトル飲料、おにぎり、菓子パン添えられる温かい食べ物、
代替え食として加熱加工した完調品の提供が可能になる
- 誤嚥、命に関わる内容も時と場合で発生することから特殊性を考え、専門性も問われる。

- リーダーは必要な特殊性理解でき、非常時でも最低限対処できる指南プロが必要ではないか
- 一般の方に支援をいただく場合、安全な作業を進めるため、作業分担・説明ができるようにマニュアル、音声説明を備えていることが重要
- キッチンカーの出動が可能になった場合、何を提供すべきか、何を搭載しておくべきかを考えなくてはならない。

〔活用の利点〕

- 緊急性の時でも、誰でも作業できるようにマニュアルをデジタルとファイルで設置
- 専門性の資格者の活用から、活用の幅が広がる
- コンパクトで小回りが聞くキッチンカー(4トン車)が有効なのではないかと考える
- キッチンカーが活用できれば、害虫の遮断、最低限の特殊加工を可能にする
- アレルギー対応のコンタミの遮断もできる可能性
- 特殊栄養食品の活用窓口となりうるかもしれない。
- 自衛隊支援車と帯同・連動できると特異性支援ができる
- 大型キッチンカーと帯同・連動できると一般調理したものから、咀嚼困難、飲み込み困難者へ展開・加工支援ができる

〔食品選びと活動準備〕

- 全国からの食品の調達ルートをあらかじめ決定しておく必要
- ストック(備蓄)の中で、有効に機能する食品
 - ①常温保存で長期保存がきくレトルト食品
 - ②長期保存できる特殊栄養補助食品
 - ③長期保存アレルギー完全除去食品など
- 準備[お粥、軟らかい調理品、トロミある飲み物・汁、粉の重湯]のやさしい食べ物調達が必要
- 貼紙 PR を行い、被災者、支援者が躊躇しないで喫食できる配慮、相談窓口設置(お粥、やわらかい調理品、トロミある飲み物・汁あります)などの貼紙→支援
- ディスポ食器の選択、図案・写真化
- 体調不良の方対象の専用支援
- 提供食数を越えた支援はどのように考えるべきか
- 一般市民の方が有事に支援に入る場合、食中毒を起こさない対策支援をする必要性
- 衛生講習会を開催し、学ぶ、作る、食べる実態訓練 PR[防災イベント]を行う必要性
- 支援、食材の集約、運搬ルートを考える

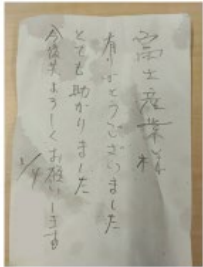
震災直後の様子



富士産業株式会社

食事提供の様子

◆1日2回食 ライフライン未復旧Ver すべて非加熱しと対応			
1月7日	主食	副菜	その他
朝食	ミルクブレッド	鶏と野菜のトマト煮	お茶
夕食	五目御飯	サバみそ煮	エンジョイクリーム1/3本
1月8日	主食	副菜	その他
朝食	チョコブレッド	ぬくもりミキサーぶどう	お茶
夕食	カレーピラフ	肉じゃが	エンジョイクリーム1/3本
1月9日	主食	副菜	その他
朝食	ブルーベリーブレッド	鶏と野菜のトマト煮	お茶
夕食	コーンピラフ	中華風ミートボール	エンジョイクリーム1/3本



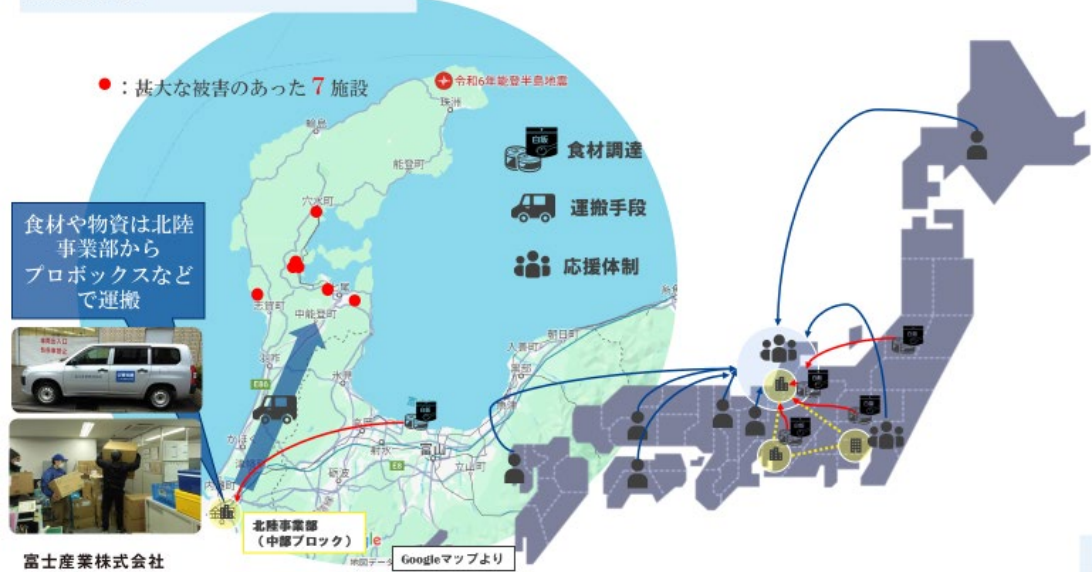
富士産業株式会社

炊き出しの様子：延べ3,706食提供



富士産業株式会社

支援体制



富士産業株式会社

